

## 会 議 録

会議の名称	第1回 第4期白岡市教育振興基本計画策定委員会
開催日	令和8年2月27日(金)
開催時間	午後2時から 午後3時30分まで
開催場所	市役所大山庁舎 1階 大会議室
出席者(出席委員)の氏名・出席者数	石井 宏明、青木 春乃、増田 陽一、明野 真久、板垣 時夫、 増田 政史、秋道 明子、渡邊 亜希子 出席者： 8名
欠席者(欠席委員)の氏名・欠席者数	なし 欠席者： 0名
説明員の職・氏名	教育総務主幹 神田 晶子、主事 松本 崇希
事務局職員の職・氏名	教育長 横松 伸二、教育部長 長谷川 亘、教育部理事 神田 正、 教育総務課長 高澤 憲司、教育総務課主幹 神田 晶子、 教育総務課 松本崇希
その他会議出席者の職・氏名	生涯学習課長 岩楯 浩志、生涯学習課主幹 島村 哲也、 魅力ある学校づくり推進室長 齊藤 健、魅力ある学校づくり推進室主査 相子 純一、教育指導課指導主事 福岡 拓弥、 株式会社社会構想研究所 原田 昌悦
傍聴者数	2人
会議次第	別添のとおり
配布資料等	資料1 策定委員名簿 資料2 第4期白岡市教育振興基本計画の策定について 資料3 計画策定スケジュール 資料4 第4期白岡市教育振興基本計画に係るアンケート調査の実施について 資料5 白岡市教育委員会の点検・評価とりまとめ 資料6 白岡市教育委員会の点検・評価とりまとめ 資料7 第4期白岡市教育振興基本計画に関する意見について (参考資料) 白岡市教育振興基本計画策定委員会設置要綱

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>1 開会</p> <p>第1回第4期白岡市教育振興基本計画策定委員会の開会を宣言した。</p>
横松教育長	<p>2 委嘱書の交付</p> <p>横松教育長より委員へ委嘱書を交付した。</p>
横松教育長	<p>3 挨拶</p> <p>第4期白岡市教育振興基本計画策定委員会への出席に対し、謝意を表す。</p>
各委員	<p>4 委員自己紹介</p> <p>委員の自己紹介をした。</p>
事務局	<p>5 職員紹介</p> <p>事務局職員を紹介した。</p>
事務局	<p>6 委員長及び副委員長の選出について</p> <p>白岡市教育振興基本計画策定委員会設置要綱第5条に基づき、委員長に石井委員、副委員長に増田（政史）委員が選出された。</p>
石井委員長	<p>7 会議内容</p> <p>（1）第4期白岡市教育振興基本計画の策定について、及び（2）第4期白岡市教育振興基本計画策定スケジュールについて</p> <p>会議内容（1）及び（2）について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>資料2、資料3に基づき説明した。</p>
石井委員長	<p>事務局からの説明が終わりました。（1）及び（2）について、ご質問等がありましたらお願いします。</p>

Q委員	<p>資料2の裏面、真ん中に記載されている「白岡市文化財保存活動地域計画」の名称について、修正をお願いします。正しい名称は「白岡市文化財保存活用地域計画」となります。なお、「文化財保存活用地域計画」は、従来の美術品や古い文化財を中心に指定していた従来の文化財保存計画に対し、より広範な文化財を対象とした計画となります。</p>
石井委員長	<p>事務局、修正をよろしくをお願いします。</p> <p>ほかにご質問等がありますか。ないようですので、次の内容に移ります。</p>
石井委員長	<p>(3) 第4期白岡市教育振興基本計画に係るアンケート調査の実施についてアンケート調査の実施について、事務局、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料4に基づき説明した。</p>
石井委員長	<p>事務局からの説明が終わりました。(3)について、ご質問等がありましたらお願いします。</p>
M委員	<p>調査対象の中で、児童・生徒、保護者、教員はだいたい数字のイメージが湧くのですが、一般市民と施設利用者の方はどのくらいを予定しているのかがわかればお願いします。</p>
事務局	<p>規模については、現時点では具体的な数字を示すのは難しい状況ですが、配布方法に関しては、ホームページや施設での配布を予定しています。国や県では無作為抽出による広範な配布が行われており、かなり多くの人々に配布されていますが、当市ではその規模まで実施することは難しいと考えています。しかし、現段階では分析に必要な数のデータを十分に収集できる見込みです。</p>
Z委員	<p>一般市民の方々については、対象を絞って配布するのではなく、施設に設置されたものやホームページを見て自発的にお願いをすることによってよろしいのですか。</p>

事務局	お見込みの通りです。
石井委員長	第3期のときには、どのくらいの回答があったか分かりますか。
事務局	<p>第3期のときについては、保護者のみを対象としてアンケートを行いました。そこでは、多くの学校にもご協力いただきまして、90%くらいの回答がありました。</p> <p>市民については、今回、初めて行うものです。いただいた内容をこの計画にどのくらい落とし込めるかは分かりませんが、今回、内容を分析して、必要に応じて計画に落とし込んでいきたいと考えています。</p>
石井委員長	<p>市民と団体については、新たにということなので、お願いしたいのは、施設利用者については、施設からも少し働きかけを行っていただき、社会教育関係団体にも、ただ単にアンケートをとるのではなく、教育委員会としても団体に働きかけをしていただいて、回収率を高めていただくようお願いできればと思います。</p> <p>ほかにご質問等はありませんか。</p>
B委員	<p>第3期策定の時に、小学3年生、5年生、中学2年生に対してアンケートを行ったので、この学年に対して行うことは理解できるのですが、人が違うのに何が比較できるのか疑問に思います。小学3年生、5年生、中学2年生に絞る必要があるのか、再検討が必要ではないかと感じています。</p> <p>また、保護者については、すべての学校にホームアンドスクールという校務システムが導入されたので、もっと広くアンケートを実施できます。子育てをしている保護者は、この先も市内で生活し、学び続けることが予想されるため、学年に限定せず、もっと広範囲に意見を収集すべきだと考えています。</p> <p>児童・生徒は、小学1・2年生は答えるのが難しいので小学3年生、5年生、中学2年生が妥当だと思いますが、保護者は、第3期時に行ったこととシステ</p>

事務局	<p>ムが変わっているのに、全保護者にアンケートを実施してよいのではないかと感じています。</p> <p>そういう方法もあるというご意見をいただきましたので、考えたいと思います。</p>
石井委員長	<p>ぜひ検討していただいて、お願いできればと思います。</p> <p>私のほうから1点、お話をさせていただきたいのですが、現在のアンケートについて、裏面には大まかな項目が記載されていますが、細部については検討中との説明がありました。</p> <p>今後、委員の皆様、事務局からのメールを通じて委員の皆様にご意見を伺うことについて、今後の進行に関する説明がありました。</p> <p>事務局から伺っているのは、計4回の委員会ですが、その状況によっては、委員長判断でもう1回増やすことも可能ということで伺っています。今回のアンケートは非常に重要であるため、委員の皆様からのご意見をしっかりと伺い、事務局と調整を行った上で、必要であれば再度皆様にお集まりいただきたいと考えております。</p> <p>そのため、委員長および事務局での判断により、臨時に会合を設ける可能性があることについて、委員の皆様にご承知いただければと思います。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
石井委員長	<p>ありがとうございます。よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>ほかにご質問等はあるですか。ないようですので、次の内容に移ります。</p>
石井委員長	<p>(4) 第3期白岡市教育振興基本計画の点検・評価について</p> <p>(4) 基本計画の点検・評価について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>資料4、資料5に基づき説明した。</p>

石井委員長	<p>事務局からの説明が終わりました。(4)について、ご質問等がありましたらお願いします。</p>
L委員	<p>2つ質問です。1つは、評価は個々に行われていると思いますが、全体の評価が特にないように感じます。例えば、全体としてうまくいったとか、うまくいっていないという評価が見えないため、今後の評価の中で目安となる数値や目標が設定されると良いと思います。また、第3期は、うまくいっているという感覚がほしいです。</p> <p>もう1つは、先ほど説明があった社会教育の充実に関する(3)および(5)が市長部局に送られ、「連携協力してまいります。」と記載されていますが、これらの内容は今回の基本計画に含まれるのかどうか、その点について確認したいです。</p>
事務局	<p>1点目の現状と課題については、第4期の計画を策定するに当たり、非常に重要なものでありますので、今後、内容を整理して、第2回目で示せればと考えています。</p> <p>2点目の文化・スポーツ振興課については、第2回目で具体的に入れるか入れないかのお話ができると思います。現時点では、「連携を図ってまいります」という程度で留めさせていただきます。</p>
石井委員長	<p>私から1点。今、L委員から全体的な総括についてのご質問がありました。これは非常に重要な部分だと考えています。今年度までに第3期の計画が実施されてきましたので、その中で得られた成果や残された課題を第4期にどう反映させていくかが重要です。この部分については、しっかりと総括を行わなければならないと感じています。ですので、第2回目の委員会までに、ぜひお願いできればと思います。</p> <p>ほかにご質問等がありますか。ないようですので、次の内容に移ります。</p>

<p>石井委員長</p>	<p>(5) 第4期白岡市教育振興基本計画に関する意見について</p> <p>白岡市の教育をより一層充実させるため、また、発展させるために、今後、特に取り組む必要があると感じられる点とか教育に関する様々なお考えも含めてご発言いただければと思います。</p>
<p>X委員</p>	<p>まず、単純に感じていることとして、これだけ膨大な内容を作るに当たり、4回の会議で、しかも顔を合わせない中でどのように進めていくのかという点について、大変難しいのではないかと感じています。同時に、本計画が非常に重要なものであるということも、この時間の中で強く感じています。</p> <p>第3期基本計画の資料をいただき、拝見しましたが、令和4年から8年までの計画であり、これまでの数値は示されているものの、今後に向けた内容が見当たらないように感じました。これから未来をつくっていかねばならない中で、現在と将来を見据えた資料が、現時点では十分ではないのではないかと思います。今後、アンケートの整理や実施、集計を経て計画を作り上げていくことになると思いますが、事務局のご負担も大きく、短期間での取りまとめは大変難しいのではないかと感じています。私自身も、さらに勉強していかねばならないと感じているところです。</p> <p>また、このような会議に出席するたびに感じるのは、どうしても自分の立場から要望を述べるのが中心になってしまいがちで、場合によっては不満のような形になってしまうということです。しかし、それではいけないと感じています。やはり、これから先、この市を愛し生きていく子どもたちにとって何が必要か、安心して生活し、楽しむことができるのかといった大きなビジョンを大人たちが明確に持った上で、限られた予算と人材で施策を考えていく必要があると思います。</p> <p>その上で、現場の小学校の校長としては、県や国に先駆けて、最低30人学級を市の独自施策として実現していただきたいと考えています。担任一人が見る子どもの人数が減ることで、教育の充実につながるのではないかと思います。そのためには教室の確保が必要となり、既存校舎の活用方法の見直しや、場合によっては学区の変更、さらには校舎の建て替えといった検討も必要にな</p>

	<p>ると考えられます。こうした点は、学区の在り方とも関わってくるものだと思います。</p> <p>また、30人規模であれば、さまざまな体験活動も実施しやすくなると考えています。本市は文化的な取組が充実しており、これまで築かれてきたものを生かしながら、子どもたちが実際に体験し、学べる機会をさらに増やしていければと現場の学校長として思っています。</p>
石井委員長	<p>続いて、D委員、お願いいたします。</p>
D委員	<p>先ほどのアンケートの話を聞く中で、課題を把握し、その課題を次にどのように改善していくかという流れは非常に重要であると感じました。学校経営においても、毎年課題が見えてくる中で、それを改善につなげていくという流れがあるため、アンケートはとても大切であると考えています。</p> <p>また、このような計画においては、白岡市以外にお住まいの方が見たときに、「白岡はいいな」と感じてもらえるような内容になることが望ましいと思っています。白岡市の特色をアピールできるような計画であれば良いと考えます。</p> <p>もう一点、私自身の経験として、昨年度から本校に車椅子を使用する生徒が在籍しています。教員として、車椅子の生徒とともに学校生活を送るのは初めての経験でした。その中で、入学に当たり白岡市においてスロープの設置など様々な対応をしていただき、大変ありがたく感じております。今、多様性の時代と言われるなかで、こうした取り組みを白岡市としてやっていくのだというのを、市外にアピールできるような部分があるといいなと思っています。</p> <p>それと、今、変化の大きい時代と言われる中で、学校としては、子どもたちに将来を生きぬく力を身に付けさせたいと常に考えています。その中で、社会に出たときに「やっぱり白岡、良かったな」と思えるような子どもたちを育てていきたいと考えています。カリキュラムであつたり、施設の魅力とともに郷土を愛する心というのを教育の中で育てていけるようなものになればいいなと考えております。</p>
石井委員長	<p>F委員、お願いします。</p>

<p>F委員</p>	<p>まず、この基本計画を検討するに当たり、上位計画として第6次白岡市総合振興計画があるということですが、少なくとも教育に関する部分については、我々も理解しておく必要があると考えています。違うことを言い出したらまずいのかなと思うので、市として全体の中で教育をどのように位置付けているのかが分かる資料について、事前に共有いただければありがたいと思いますので、お願いしたいと思います。</p> <p>それと、私の立場は学校運営協議会の一員として、地域と学校をつなぐ役割を担っているところです。各学校、本当に一生懸命地域のためにということをやっています。我々もそれなりに頑張っているのですが、生活スタイルの変化により保護者も共働きが増え、PTAの参加率が悪くなっています。こうした中、子どもだけではなく、大人がそういうところに加わる場所というのをもうちょっと考えていかなければならないかと感じています。</p> <p>例えばハード面でいえば、「テニスコートがもうちょっといっぱいあればテニスやりやすいよね」といったことも含め、学校という枠に限らず大人がかかわりやすい環境づくりが必要ではないかなと思います。学校の経験豊富な教職員の方がいらっしゃいますので、そこにプラスして、大人のつながりがあることによって、子どもたちの見守りなどでプラスになると思います。</p> <p>どうしても教育計画というと、子ども中心の内容になりがちですけど、大人の関わり方などの視点も含めて考えていくことで、結果として子どもたちをより良く見守る環境につながるのではないかと思います。私自身もそのような視点を持って今後も見ていきたいと考えています。</p>
<p>石井委員長</p>	<p>続いて、K委員、お願いします。</p>
<p>K委員</p>	<p>私は、生涯学習の視点から、学びの環境やその持続性について考えていきたいと思います。点検・評価委員として、生涯学習の様々な現場を見させていただいております。また、文化財審議会の立場から、講師等を務めたり、市民の皆様をご案内する機会もごございます。</p>

	<p>少し余談になりますが、1月25日に神奈川県から白岡八幡神社にツアーの方々が来られ、その案内を私が担当いたしました。今年は午年ということもあり、白岡八幡神社には神馬社があることから、わざわざバス1台で来訪されたものです。このように、白岡市にも由緒ある歴史的資源が身近に存在していると感じております。</p> <p>そうした中で、私が日頃感じていますのは、生涯学習の現場に行きますと、子どもたちや高齢の方など、目を輝かせて参加をしています。白岡市は、ここ10年くらいで、こもれびの森や総合運動公園ですとか、他市に誇るような施設が整備され、それに伴った講座・イベントも充実していると感じています。それと、た、それらを支える図書ボランティアの皆様が図書館で活動されていることも、大変大きな力になっていると認識しています。</p> <p>一方で、点検・評価を通じて感じる課題として、参加者の固定化や社会教育団体・サークルの減少が挙げられます。今後は、そこをいかに克服していくか。せっかく整った施設を十分に活用し、いわゆる「宝の持ち腐れ」とならないよう、より多くの若い世代にも利用していただき、足を運んでもらうことが必要だと思えます。</p> <p>生涯学習の現場で、自己研鑽でいろいろ学ぶだけではなくて、今度はその人たちを担い手として、いかに次世代につなげるようにするかというのも白岡が抱えている課題ではないかなと思います。良い面と悪い面ありますが、着実に良くなってきていますので、その良さを生かしながら進めていきたいと思えます。よろしくお願ひします。</p>
石井委員長	増田（政史）副委員長、お願ひします。
増田（政史）副委員長	<p>今、皆様のご意見やお考えをお聞きし、多くの点で頷くところがありました。本日は第1回目の委員会ということで、個別の事案に対する質問等については今後検討していきたいと考えておりますが、現時点では、本委員会に臨む自分自身の考えを申し上げたいと思えます。</p> <p>この計画は、第6次総合振興計画の中の教育分野として位置づけられていると理解しています。その中で、第3期計画に引き続いて、同じ第6次計画の中</p>

で進めていくということだと思います。ということは、基本理念にあります、「学び楽しむまちづくり」という理念は変わらないものの、これを第4期へと進化させるという大事な会議になるのかなというふうに私は理解しています。

私は教育現場の出身ではないため、教育現場の具体的な状況については分からない点も多くありますが、これまで地域の活性化や学校と地域の結びつきといった視点から関わってきた経験を踏まえて発言していきたいと考えております。

その中で、本委員会のメンバーの中に、白岡の歴史とか文化、それから学校と地域を結ぶ方がいるということが、非常に心強い気がします。

このことはまた別の機会に言おうかなと思ったんですけど、K委員がおっしゃった、八幡神社について併せて私の考えをお伝えしますと、今度、白岡駅西口が再開発されて、数年後に八幡神社方面へ道路が整備されると伺っておりますが、そのタイミングに合わせて、例えば「白岡表参道」のような名称を付けるなどして、西口から八幡神社へ至る動線を生かした取組も考えられるのではないかと思います。キッチンカーの出店など、既存の取組も活用しながら、年1回でもイベント的に実施することで、地域の活性化につながるのではないかと感じたところです。

もう1つ、先日、ある研修会に参加しました。地域の高齢化や自治会の担い手不足といった課題に対し、成功事例として、小規模なまちにおいて中学生の女子生徒が自治会のお祭りの委員長を務め、祭りを盛り上げたという事例が紹介されておりました。小・中学生や保護者が一体となって地域活動を支える取組であり、これはまさに第3期の計画の施策目標の「家庭・地域の教育力の向上」や「社会教育の充実」にも通じるものだと思います。

これから、第2回、3回、4回と委員会が進む中で、私はそういう思いで、この会議に参加させていただこうかなと考えています。よろしく申し上げます。

石井委員長

続いて、E委員、お願いします。

E 委員	<p>昨日、西小で学校運営協議会があり、その中で図書としては、ちょっとグサツと来ることを言われました。「これからデジタル時代なのに、何で図書押しなのか、アナログではないか。」という指摘でした。「あ、そう思うのか」と考えさせられました。</p> <p>私は小学校で図書に関わっているので、自分の子どもに本を読んでもらいたい思いから中3までスマホは持たせませんでした。しかし、高校受験後にスマホを持った途端にYouTubeに全てを持って行かれました。全然本を読まないわけではなく、学校の課題があれば、必要に応じて読んでいますが、本にあんなに夢中になっていた彼らはもういないことを実感しました。</p> <p>今の子どもたちは早くからデジタル機器に触れていますが、低学年のうちはまだ本の世界にとどめておけるのではないかと感じています。「学び楽しむ」という視点に立てば、学校図書館には調べ学習などの「学び」という機能とともに「楽しむ」昨日の両方が必要だと思います。特に、本の世界に没頭する体験を一度でも経験しているかどうかは、その後の人生にも大きな影響を与えるのではないかと感じています。</p> <p>一方で、図書購入の予算の課題として、私が関わり始めた12年前は、1年間の学校で買える予算が68万だったのですが、今は23万です。なので、学びの本と楽しみの本と両方買ってあげたいのですが、学びの本はどうしてもなければいけないので、学びの本を買ってしまうと楽しみの本を買うお金がありません。そのため、地域の方やPTAの方に「こういう図書館にしたいから、一緒にやりませんか」と伝えたところ、PTAの方から廃品回収で得たお金を「これ全部楽しみの本にしてあげて」と支援していただいたり、地域の方がアルミ缶を集めてその収益を寄付してくださるなどしていただきました。その資金を古書店なども利用することで子どもたちが楽しめる本を充実させることができました。</p> <p>また、図書委員会の子どもたちにリクエストを募り、希望する本を購入するなどの工夫も行いました。その結果、子どもたちが目を輝かせて図書館に来るようになり、すごく楽しい図書室になりました。</p> <p>さらに、図書室に本を置くためには、カバーをしなければいけないのですが、「手伝ってくれませんか」と言ったら、みんな参加して下さり、「楽しかつ</p>
------	--

	<p>た。また手伝いたい」と言っていたので、地域の人も巻き込んでいけたらなと感じています。</p> <p>こうした経験から、学校や行政だけでなく、地域の力を取り入れて学校の図書室などをよくしていったらいいのではないかと自分の経験から思いました。</p>
石井委員長	<p>続いて、S委員、お願いします。</p>
S委員	<p>私も事前に基本計画を拝見させていただき、とてもよく考えていると感じました。正直なところ、子育て経験がありながら、十分に理解できていない部分がありました。ただ、次女が登校しづらい時期があったときに、学校の先生方に支えていただいて、1年半後に一人で登校できるようになった経験もあり、大人が一人一人見ていたことに対して、とても有難く感じました。</p> <p>一方でボランティアとして学校に関わる立場や保護者として感じるのは、「学び楽しむまちづくり」を実現するためには、それを支える方たちの体制が充実をしていないと、継続していくことは難しいのではないかとということです。市の職員や学校の教育者関係者、親や家族など、それぞれの負担を抱えながら、教育や子どもに係る取り組みを担っていけるかという、なかなか難しいのではないかなと感じています。</p> <p>E委員のお話からもありましたように、地域のボランティアの方たちとお互いに支え合えるようにしたほうが、疲弊せずに、子どもを真ん中にして、周りの大人たちが支えることができるのではないかと思います。</p> <p>また、私は図書に関わるボランティア活動をしているので、小学校・中学校全ての学年の子どもたちに、朝読書の時間があつたらいいなと思っています。宮代町でもブックトーク活動を行っており、中学校2年生に紹介した本をきっかけに、男子生徒が『赤毛のアン』を読むといったこともありました。学校という環境の中に本を置き、一定期間自由に読む時間があれば、子どもたちが自然に読書に触れる機会が増えるのではないかと思います。</p> <p>家庭ではどうしてもスマホを見ると思うのですが、学校にいる時間の中で読書に触れる機会をつくることで、子どもたちに選択肢を広げることができるの</p>

石井委員長

ではないかと感じています。そのためにも、ボランティア精神のある方たちにご協力いただいて、関わる機会を広げていくことが重要だと思います。

また、他の委員のご発言を聞く中で、ボランティアの団体も自分たちでどんどん周知をしていく必要があると感じ、反省する点もございました。今後は、さまざまなおところでご協力をいただきながら、地域の子どもたちや子どもを助けることができるということを広く伝えていければよいと思いました。

皆様、本日は多くのご意見をいただき、ありがとうございました。

ご意見を伺い、本基本計画の施策につながる重要な視点が数多くあったと感じております。

恐縮ではございますが、最後に私からも発言させていただきます。冒頭の自己紹介の中で、皆さんが「I LOVE 白岡です」というふうなお話がありました。実は私は白岡市に居住したことも勤務したこともありません。現在は大学に通う中で、篠津を通り、市役所の脇を通って通学している状況です。そのような中で、私が白岡市と聞いて最初に思い浮かべるのは、見沼代用水の伏越です。社会科の教員として河川を研究してきたこともあり、これまで何度も訪れておりますし、井沢弥惣兵衛の墓がある場所としても非常に意義深いものと認識しております。私にとって白岡市の象徴的な存在の一つとなっております。

また、現在、大学に勤務しておりますが、その2年前までは県教委にずっといまして、教育長とも机を並べて同じところで働いた経験もあります。されに、埼玉県第4期基本計画も策定に少し関わってきた経緯があり、その経験を本計画に生かせというふうなことかなと思っています。その上で、感じていることを2点ほどお話させていただきたいと思います。

まず1点目は、校長先生が出席いただいておりますが、現在の学校現場には多様な課題があり、変化が激しく先行きが不透明な社会の中で、子どもたちが将来にわたって生き抜き、活躍できる力をどのように育てていくかが重要であると考えています。他の委員さんもおっしゃいましたが、多様性の観点から見ても、不登校の子ども、経済的に困難を抱える家庭の子ども、障がいのある子ども、外国にルーツを持つ子どもなど、様々な背景を持つ子どもたちが

います。そういう中で、そうした一人一人が、自分の長所や強みを生かしなが  
ら学ぶことができる環境を整えることが必要です。国や県でも「誰一人取り残  
されない共生社会」の実現が重視されており、今後の教育の方向性としても重  
要な視点になると考えています。本計画においても、この多様性の視点は第3  
期に引き続き重要な要素であると感じています。

2点目は、本年度に白岡市の講演でも話をしたことなのですが、現在、デジ  
タル化がすごく進んで、子どもたちもICTの端末を持って学びを進めるよう  
に変わってきています。しかしながら、リアルな学習がとても大事なことだ  
と思っています。特に児童生徒数の減少や学校の統廃合が進む中で、大事だと私  
は思っているのは「ふるさと」を意識した学び、自分の地域をしっかりと知っ  
て、自分の地域をしっかりと大事にできる、そういう子どもたちを育てていか  
なければいけないと思っています。地域の人々と直接関わり、地域の文化や歴  
史、産業を学び、地域への愛着を育むことは、学校教育において非常に重要で  
す。だと思っています。

白岡市には、文化財や農産物、さらには企業など、多様な地域資源がありま  
す。こうした地域で子どもたちを育てていく、また、子どもたちは地域の中で  
学んでいくということができるといいなと私自身は考えています。

例えそれが、いずれ子どもたちが白岡市に住まなくても、大人になってほか  
の地域に住むようになって、「自分が育った地域はこういう地域だよ」とい  
うことが語れるような子どもたちを育てていくことが重要ではないかと発言  
をさせていただきました。

以上、私の考えとして述べさせていただきました。

ほかにご意見等がありますか。

ないようですので、進行を事務局にお返しします。

## 8 その他

事務局

事務局から、費用弁償について、第6次白岡市総合振興計画の教育と文化の  
内容についての資料提供について、次回の会議開催予定について説明した。

事務局	委員の皆さまから何かございますか。
委員一同	意見、質問等なし
事務局	9 閉会 第1回第4期白岡市教育振興基本計画策定委員会の閉会を宣言した。